

きはんいしきいくせいきょういく 規範意識育成教育



～人との関係をよくするために～

「じょうずなこえのかけ方について かんがえよう。」



臨床心理士
シャルマ直美先生

「痛い！」
「こっちこそ痛い！」 「はあ!？」



先生たちの見本を見て、どこがいけなかったのか考えます。

①の場面(ばめん)

わざとじゃなくて
ろうか^とで友だちと
ぶつかった時



実際に、じょうずな声のかけ方をやってみました。

ごめん!



②の場面(ばめん)

友だちにさそわれた
けど、用事^{ようじ}があつて
ことわる時

いいよ!



そのほかにも、おくらしている友達がいた時や、友達に待っていてほしいときについても、やってみました。

あやまるときに、気をつけること

★すぐにあやまりましょう。

★ことばだけでなく、声^{こゑ}のちようしや、かおのひょうじようでも、あやまる気もちをつたえましょう。

★心^{こゝろ}からあやまりましょう。



みんなで

やってみよう!



声をかけるときに、気をつけること

★こまっている人^{ひと}には「どうしたの?」とやさしくききましょう。
★こまっている時は「たすけて!」「こまってる!」とつたえましょう。
★みんなでたすけあつていきましょう。
「だいじようぶ!」「いっしょにやろう!」「やってみよう!」



どんなことに気をつけたらうまくいくのかを、みんなで勉強できた時間でした。

じょうずな声の掛け方を、これからの生活や実習にぜひ、いかしていきたいと思います。

